

2025年度

島根大学大学院人間社会科学研究科修士課程

社会創成専攻 地域経済コース

(第1次) 入試問題

【 地域経済論 】

(外国人留学生特別入試)

注 意

- 1 問題紙 2 ページ, 解答用紙 2 枚, 下書き用紙 1 枚である。
- 2 指示があってから確認し, 解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答は, 解答用紙に清書すること。
- 4 問題紙, 下書き用紙は, 持ち帰ること。

以下、2つの問題に答えなさい。解答は解答用紙（問題1と問題2）にそれぞれ記入すること。

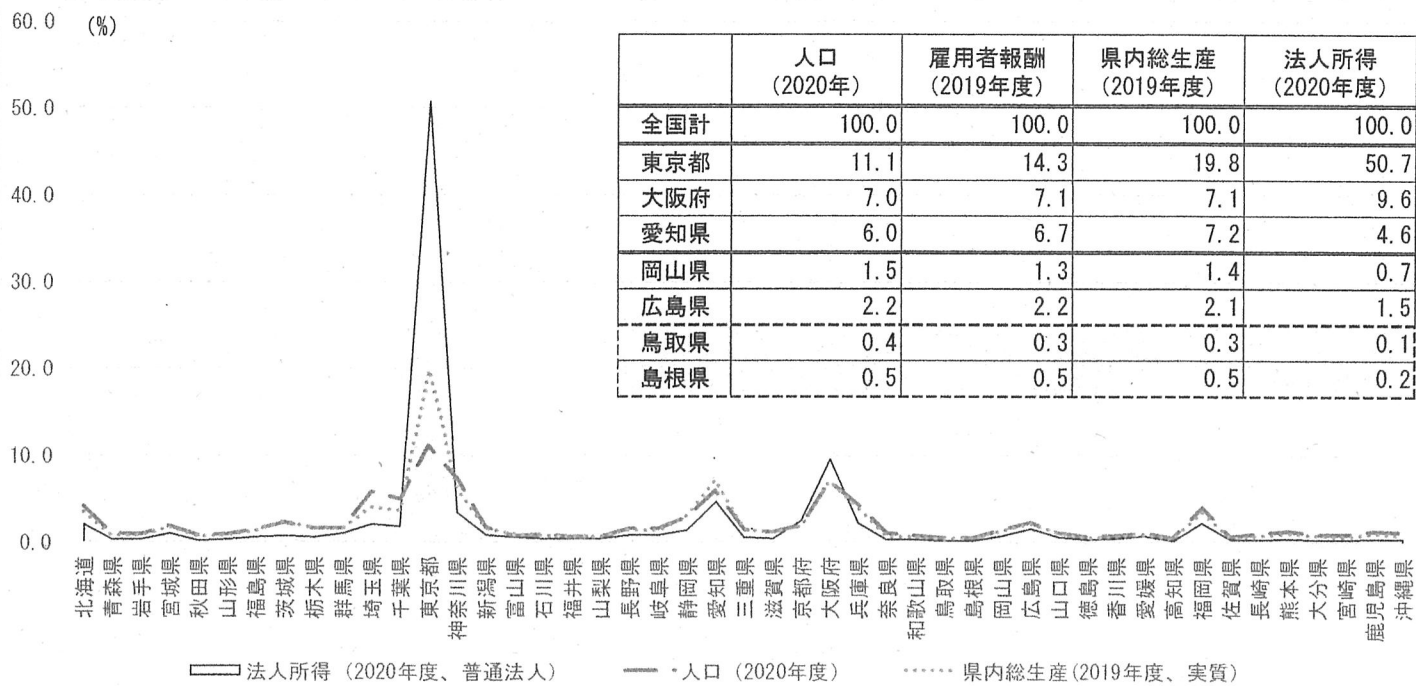
問題1

「集積の経済」の定義を説明し、地域に与えるメリットとデメリットについて、具体例をあげながら論じなさい。

問題2

日本では、1980年代半ば以降、東京圏に人口や経済機能が集中する「東京一極集中」の国土構造が形成されている。図1を参考にして、「東京一極集中」の国土構造が形成された背景や理由を説明した上で、この国土構造が島根県や鳥取県などの地方圏に与える影響について論じなさい。

図1 3大都市圏と中国地方・各県の地域間格差



注：県内総生産は実質、法人所得は普通法人の所得。
出所：総務省「日本の統計2023」、内閣府「県民経済統計」、国税庁「法人税統計年報」より作成。